

平成24年度8月定例記者会見 会見録

日時 平成24年8月23日（木）午後3時～3時15分

場所 市役所2階 第1特別会議室

（市長）

はじめに、社会保障と税の一体改革法についてでございます。

8月10日、消費増税を柱とした社会保障と税の一体改革法が成立したところでございます。この法案の成立を機に、社会保障制度が将来的にも安定した制度となりますことを期待しているところでございます。引き続き、市民生活の安定と向上のため国から地方への財源と権限の移譲を図り、地方自治の強化に取り組んでいきたいと考えております。

一方、解散総選挙という話も出ております。特例公債法案などの重要法案が現在もなお審議中という状況にあります。これらの法案が成立しないと基礎自治体の行政運営に大きな影響を与えるものとなりますので、一刻も早い成立に向けまして国会運営を進めていただきたいと思いますと思っております。

次に、8月27日に開会いたします9月定例会について、お話しをさせていただきます。

議案の内容につきましては、先ほど担当から説明させていただいたところでございますが、例年どおり、平成23年度の一般会計をはじめとする各決算と平成24年度の補正予算を中心に審議をいただくものでございます。

9月補正予算につきましては、総額13億8700万円を上程する予定でございます。主なものといたしましては、平成25年3月に完成いたします緑区合同庁舎への緑区役所等の移転費用がでございます。また、既存木造住宅の耐震化を促進するため補助金予算を増額するほか、現在、生ワクチンで実施しておりますポリオの定期予防接種でございますが、9月から不活化ワクチンへ切り替えることに伴いまして、個別予防接種となりますのでこれらの関連の費用でございます。

そのほか、地域主権一括法の改正の関係で条例改正を10件、上程する予定でございます。

次に、ロンドンオリンピックなでしこジャパンについてでございます。

8月12日に閉幕いたしましたロンドンオリンピックでございますが、女子サッカー・なでしこジャパンが、見事、日本女子サッカー史上初めてとなりますオリンピックでの銀メダルを獲得いたしました。なでしこジャパンの鉄壁のディフェンダー、本市在住の岩清水梓選手は、予選から決勝までを含めまして全6試合にフル出場され、守備で大活躍をされました。

相模原市民としてのオリンピックのメダル獲得につきましては、初めての快挙となります。ぜひ、お会いしまして直接お祝いの言葉を申し上げるとともに、その活

躍を称え「相模原市スポーツ特別顕賞」を贈呈したいと思っております。

また、オリンピック関係でございますが、本日の午前中、陸上女子5000メートルと10000メートルに出場しました吉川美香選手が市役所にお越しいただきました。オリンピックの結果報告などをお話しいただきました。10000メートル決勝では、初めてのオリンピックではありながら、出場した他の日本選手と一緒に、一時、集団の先頭に立つなど積極的なレースを見せていただきました。

このたびのオリンピックでは、女子サッカーをはじめ、様々な競技で日本選手が活躍しました。聞くところによりますと、過去最多のメダルを獲得されたとのことでございます。大変嬉しく思っているところでございます。先日、東京都議会議員の方々が市役所を訪れ、2020年のオリンピックの東京開催、招致に関しまして、協力の要請がございました。このようなオリンピックの熱気や雰囲気と日本の選手の活躍を、次世代を担う若い人が実際に見たり、肌で感じたりしていただくことができれば素晴らしいことだと思っておりますので、ぜひ、東京でのオリンピックの実現を期待しております。

次に、第45回全日本社会人体操競技選手権大会についてでございます。

9月15日（土）から17日（月）までの3日間、南区麻溝台の市立総合体育館で開催されます。この大会には、ロンドンオリンピック体操男子個人総合で、28年ぶりとなります金メダルを獲得されました内村航平選手のほか、多くのオリンピック代表選手が出場すると伺っております。オリンピック後、体操競技では初めてとなる大きな大会でございますので、ぜひ、華麗な演技を市民の皆様にご披露いただき魅了していただければと思っております。

最後に相模原市総合防災訓練についてでございます。

本市では、9月2日（日）に総合防災訓練を実施する予定でございます。訓練では、予知対応型訓練と発災対応型訓練を実施しますが、予知対応型訓練では、東海地震の警戒宣言の発令を想定した訓練ということで、急傾斜地崩壊危険区域の周辺にお住まいの市民の皆様を対象に、情報伝達訓練、避難誘導訓練を実施する予定でございます。また、発災対応型訓練では、淵野辺公園隣接地を中央会場といたしまして、本市西部直下を震源域にしましたマグニチュード6.9の大規模地震を想定しまして、市民1分間行動訓練、避難誘導、救出訓練、消火訓練などを実施する予定でございます。

なお、今回は、在日米陸軍が初めて総合防災訓練に参加いたします。本市と在日米陸軍は、災害時相互支援の覚書を取り交わしておりますが、今回、具体の想定を基にいたしました訓練を行いまして、覚書の内容の検証も進めてまいりたいと考えております。また、相模総合補給廠で保管しております病院セットの設営や運営訓練を行う「メデックス2012」との連携も実施する予定でございます。

ぜひ、取材をお願いしたいと思います。

私からは以上でございます。

(記者)

今回の防災訓練は、初めてメデックスと連携するとのことですが、改めて訓練の意義をお教えいただけますか。

(市長)

災害時には、様々な事態に対応できる能力を持っているところと連携することが重要だと思っております。本市には在日米陸軍の施設や資機材があり、さらには、本市と在日米陸軍で既に災害時の相互支援に関する覚書を締結しています。この覚書の具体的内容につきましてはこれから検証していきますが、今回の総合防災訓練に参加していただき、災害時に必要な体制、対応がとれるようになれば、非常に意義のある訓練になるのではと思っております。

(記者)

訓練というのは一度では意味がないと思いますが、来年度以降も連携していくことも考えていますか。

(市長)

もちろん、そのようなことも含め検討していきたいと思っております。また、それ以外のいい方法があれば、検討し、実施していきたいと思っております。

(記者)

12年前、市としてはメデックスそのものに「反対」というトーンがあったと思います。しかし、今回、市は「市民等に迷惑がかからないように」としており、このことに疑義を呈している市民の方もいらっしゃると思います。この12年の変化を市長はどのように考えていますか。

(市長)

12年前のことを正確に記憶しておりませんが、その時は米軍側から本市に対して詳細な内容を示さず、また、訓練を急に実施したこともあり、市としても戸惑いがあったと思います。

今回につきましては、市と在日米陸軍との間で事前の調整がなされ、結果的に市民の防災対策にも役立つということもありますので、12年前とは違うと思います。

(記者)

話は変わりますが、最近話題になっています尖閣諸島や竹島問題に関して、中国、韓国との関係など、現在、相模原市において何か影響等がでていますでしょうか。

(市長)

現在、本市ではそのような話を特に聞いておりません。中国・無錫市は、本市と友好都市関係となって27年。これまでも様々な国際上の問題もありましたが、友好都市との直接的な関係で、何らかの形で支障がでているということはありません。

(記者)

市長としては、今回の騒動についての見解はいかがでしょうか。

(市長)

難しい問題です。長い間の懸案事項であり、お互いの立場や置かれている状況などを判断しながら、これまで問題解決をあえてしてこなかったことがあると思います。

ここにきて、韓国や中国がいろいろな形で行動していることは、私自身どのように理解しているのかわかりませんが、今までの歴史や国際間の立場を踏まえ、現政権はあるべき方向を見定めて対応していくことが大事ではないかと思います。拙速に解決できる問題ではないと思います。

(記者)

最後に、市ではメガソーラー設置を希望する事業者の募集をされていると思いますが、現在の状況はいかがでしょうか。

(市長)

担当部局からの報告によると、22日時点で18社から応募があったと聞いています。本市のメガソーラー導入事業の特色は、市と民間事業者の協働で実施するところにあります。本市は事業用地を無償で提供し、事業者は温暖化対策へ貢献してもらうため、メガソーラーによって得られる売電収入の一部は、市に納付していただくこととしております。

(記者)

18社の応募は、予想よりも多いのでしょうか。

(市長)

私としては、多くの企業が関心を示していただいているのではと思っております。